



ゴール15 陸の豊かさも守ろう

15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

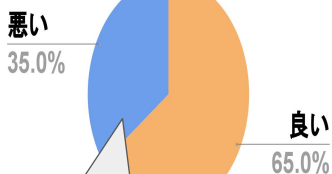
選んだ理由

・「2020年までに」と掲げているターゲットであるにもかかわらず、未だに改善されていないと感じるから。
 ・他にも「2020年までに」と掲げているターゲットはあるが「持続可能な利用」という言葉が私たちの目標にあっていなかったから。

「持続可能な利用」を目標に、私たちの身近で取り組める問題として「紙」に着目しました。

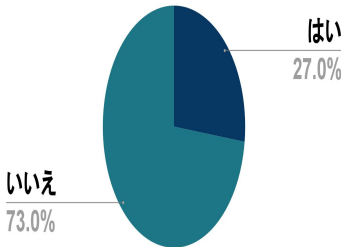
①デジタル化、裏紙の使用についてのアンケート

現在、定期考査の試験範囲がgoogleclassroomで配信されていますが、それについてどう思っていますか。



・学校で見ることができない。
 ・勉強中にスマホを触るきっかけになる。

・自分のノート
 ・ルーズリーフ
 教卓に入っている裏紙を使用したことがありますか



どれくらいの木が紙を作るために伐採されているのでしょうか

年間およそ3000万トン、木造住宅300万軒分に相当する木材が使用されている。

紙の使用量としては、2020年の日本国民一人あたりの紙の使用量は**平均178.4kg**と世界トップクラス。

それだけの紙を作るための木はどこから輸入しているのでしょうか。



日本はベトナム、中国、チリ、オーストラリア、ニュージーランドなどから多く輸入しています。

森林減少の激しいアフリカ、東南アジアから輸入していないからいいのではないかな？



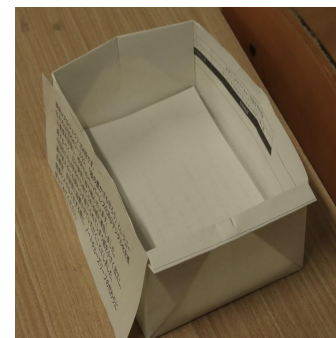
日本に多く紙を輸出している中国は、東南アジアから多く木材を輸入しているので、間接的に関わっています。

②各教室への裏紙の設置

裏紙を各教室、自習室へ設置した。また、事前のアンケート結果より、小さいサイズの方が良いのではないかと考え、A5サイズに加工した。

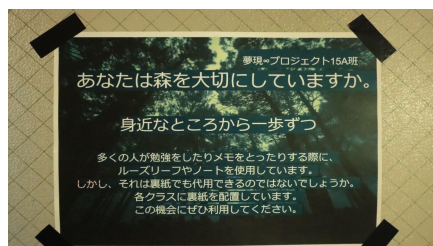
<使用した人から>
 ・ノートを使わなくて良い
 ・捨てるのだから勿体ない
 ・計算などちょっとしたことに使いやすい

<使用していない人から>
 ・取りに行くのが面倒
 ・線がない
 ・ケチと思われそう



③ポスター作成、デジタル化推進の取り組み

裏紙の使用を推進するポスターを作成した。また先生方にgoogleclassroomでの試験範囲などのお知らせの掲載を依頼し、デジタル化の推進に努めた。



今後の展望と考察



紙を大量に使う生活が常識となっているが、それが森林減少という環境問題に繋がっていることに気付かされた。また、自分を含め、自分が思った以上に周りの人は紙のロスに対して関心がある人が少ないと思った。まずは自分が理解し、広めていくことが必要だと思った。

参考文献

- 地球温暖化白書
<https://www.glwwp.com>
- 株式会社市瀬
<https://www.ichise.co.jp>
- あんしんペーパー
<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp>
- 製紙産業の現状 | 世界の中の日本
<https://www.jpaa-gr.jp>
- 紙、パルプグループの輸入
<https://itrade.ecodb.net>
- 日本に来ている木材はどこから？
<http://www.fukuokabank.co.jp/fuku/kaigai/asia/asia200709/dalian.pdf>